

フクドジョウ (ドジョウ科)



学名 : *Noemacheilus barbatulus toni*

大きさ : 全長 20 cm

特徴 : 体はやや側扁して細長く、吻が長い。口ひげは3対。眼の下に棘（眼窩棘）がない。他のドジョウとは、口ひげの数と眼窩棘の有無で識別できる。産卵期は4～8月。主に水生昆虫を食べる。

国内の分布 : 本来の分布は北海道のみであったが、近年は福島県や宮城県のア武隈川水系や福島県や茨城県の久慈川にも分布。

県内の分布 : 久慈川の上流から中流域。大沢川と後沢および舟生沢との合流点付近で比較的多く採集される（茨城内水試、未発表資料）。

備考 : 久慈川における本種の分布は人為的なものと考えられているが、詳細は不明。同様の分布域の拡大は、福島県と宮城県を流れるア武隈川水系でも知られる。久慈川での生息は2000年頃に確認されたが、久慈川流域の福島県の地元住民らからの情報によれば、その2,3年前からよくみられるようになったらしい。人為的に分布を広げた

と考えられる本種であるが、現時点ではその生態的な影響はわかっていない。ただ、他の水系へ分布が拡大することがないように注意が必要と思われる。

久慈川の漁業者によれば、産卵に集まるウグイを狙った投網漁の際にフクドジョウが混獲されることがあるという。

主な文献 :

- 荒井将人・岡本成司・須能紀之・外岡健夫. 2005. 久慈川河川生物モニタリング調査. 2003年度茨城県内水面水産試験場事業報告. pp. 166-179.
- 稲葉 修 (2001) 久慈川で確認したフクドジョウ. 茨城生物, 21: 17-18.
- 東城幸治・細谷和海 (1998) 福島市摺上川で採集されたフクドジョウ *Noemacheilus barbatulus toni* (Dydowsky). 福島生物, 41: 33-36.